

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先	
河合町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	児童期の学習習慣は、その後の学習習慣に影響するため、苦手の克服や勉強の楽しさを感じることが重要。	河合第一小学校、河合第二小学校において「河合町すな丸未来塾」を実施。地域の方の協力を得ながら学校の宿題を中心に学習支援を行う。	児童期における学習習慣の定着	「河合町すな丸未来塾」の実施回数（1校あたり年間30回）	53	回	60	48	2	5月～2月を事業期間とし、夏休み等の長期休暇を除く週1回、地域住民や大学生の協力を得ながら学校の教室を活用し放課後の学習支援事業に取り組んだ。実施後の保護者アンケートより「学習習慣の定着につながったと思う」と回答した人の割合が60%と一定の成果を得られた。その一方で、学校行事で教室が使用できない場合やインフルエンザ流行により学級閉鎖が生じた際にはやむを得ず事業中止したため実施回数が目標値を下回った。学習習慣の定着には切れ目のない支援が必要であるため、長期休暇中の実施も検討する。	

本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定について

本項目は、「地域と学校の連携・協働体制構築事業」を実施する各市町村において、本事業の成果等を収集・分析し、事業の改善及び充実を図ることを目的として、令和5年度から新たに作成を求めたものです。令和5年度の仮申請や交付申請時に設定した目標について、評価・分析等を記載してください。

●本年度の実績値

「目標の達成度を測る指標」について、本年度の実績値を記載してください。

●アウトカムの達成度に関する評価

上記を踏まえ、当該年度におけるアウトカムの達成度（課題の解決・改善の進捗度）を、5段階で自己評価してください。

- 5：本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 4：本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 3：本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 2：本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 1：本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直し求められる

●アウトカムの達成度に関する分析（事業における成果、課題、改善点等）

上記で行った評価に対する分析を行い、その結果を具体的に記載してください。目標値を達成し、課題の解決・改善が見られた場合は、本事業における成果を具体的に記載するとともに、目標達成のために行った工夫や次年度に向けた改善点などを記載してください。目標値の達成に至らなかった場合は、その要因を具体的に記載するとともに、事業実施上で課題となっていることや次年度に向けた改善点などを記載してください。

<目標等の公表先>

令和5年度の目標や実績などについて公表しているホームページのURL等を入力してください。現時点で実績を公表していない場合、公表に当たっては本事業の目標等を単独で掲載する必要はありません。例えば、本事業で「学校における働き方改革」に資する取組を実施する場合は、各教育委員会の「学校における働き方改革」の取組状況の一環として公表することが効果的であると考えられます。